

平成 28 年度

# 事業報告書

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 まで

公益社団法人東京都リサイクル事業協会

## 平成 28 年度事業報告

### I 概況

平成 28 年度末の日本経済は、「景気は一部改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」、先行きについては「海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある」とされている（内閣府経済月例報告）。安倍政権が 4 年余にわたり進めてきたデフレ不況脱却に向けた諸政策は、国内的には一定の成果を上げつつも、米国トランプ新大統領の今後の舵取りや欧州各国の政権交代等、世界的な経済環境の動向に左右されざるを得ない状況下であり、確実な景気回復の実感にはなお乏しいといわざるを得ない。

再生資源流通では、古紙が、資源有効利用促進法により平成 32 年までに利用率 65% への引き上げが決定。新聞古紙の回収減に拍車がかかる中で、ごみ化していた雑紙の回収システムの強化策を展開する必要が出てきた。他方、鉄スクラップ市場の回復基調や、一升（1.8ℓ）びんでは、20 年ぶりに出荷量が増加に転じる等の明るい材料も散見されるようになってきた。長年の懸案である古紙持ち去り問題は、関東製紙原料直納商工組合と行政との協働による GPS 追跡調査が 46 自治体で継続的に実施されており、4 社の常習的買入問屋を特定できたものの当該事業者の行為改善には至っていない。持ち去り古紙が流通しづらい環境づくりが求められる中で、府中市では古紙持ち去り根絶車両識別制度のステッカーを利用し、行政回収の全車両 100 台にこれを貼付し回収をはじめた。これにより、同制度の登録車両数は 1,300 台となった。今後は他の自治体でも本制度と連携されることが期待される。

2020 年の東京オリンピック・パラリンピックを 4 年後に控え、これを機に将来を見据えた効率的で持続的なリサイクルシステムの構築を企画する時期にきている。多品目・業種・業態を超えたネットワーク体である当協会が果たすべき社会的役割は益々高まってきているといえる。東京のリサイクルの質を高めるシステム構築が当協会の最大の目標である。各会員団体のみならず行政・都民等の関係諸機関との連携・協力をいっそう強化していきたい。以下に平成 28 年度に実施した個別事業を報告する。

### II 個別事業

#### 1 【公 1】 再生資源リサイクルに関する調査研究事業

都民・行政・リサイクル関連業界及び当協会会員向けに次の調査研究活動を行った。

##### (1) 古紙持ち去り防止策の具体的検討

東京都環境局による「古紙持ち去り問題対策協議会」のとりまとめを受け、リサイクル業界としての具体的対応を図るため、以下 8 団体※による「古紙持ち去り問題意見交換会」を発足。当会は他団体の事務局と協力し同意見交換会の運営や本制度の運営と車両公表等を行った。「

古紙持ち去り根絶宣言車識別（ステッカー）制度」等を運営し、5 年目を迎え登録車両は 1,300 台（11/4、第 10 回公表）となった。当年度は、府中市と調印交わし、すべての

行政回収車両に識別ステッカー貼付し回収をはじめた。

※古紙持ち去り問題意見交換会構成団体：全国製紙原料商工組合連合会/日本再生資源事業協同組合連合会/関東製紙原料直納商工組合/関東資源回収組合連合会/東京都製紙原料協同組合/東京都資源回収事業協同組合/神奈川県リサイクル産業団体連合会/公益社団法人東京都リサイクル事業協会

とはいえ、GPS 追跡調査で明らかになった常習的買入問屋は、再三にわたる自治体等からの注意・警告にもかかわらず、事業形態を改める気配はない。東京都環境局や警視庁・都内自治体・関係諸機関等の情報交換を頻繁に行ない、新たな防止策の展開が必要とされているといえる。当会では直近の古紙持ち去り量の推計作業に着手した。

## (2) 行政との情報交換会等の実施

東京都環境局部課長や 23 区リサイクル担当課長会と、情報交換会を開催し、行政に対してリサイクル流通実態や行政課題についての情報交換を行った。今年度は以下の会合を行った。

(7/6、東京都環境局廃棄物対策部 於：都庁第 1 庁舎 25F 103 会議室

7/1、廃棄物処理料金改訂経過説明会（東京二十三区清掃一部組合）東資協会議室

## (3) 小規模事業所における古紙リサイクルシステム（東商エコリーグ）の調査

### <東京商工会議所受託事業>

東京商工会議所とタイアップし平成 7 年より展開してきた、小規模オフィス等における古紙回収システム運営にあたっての情報収集と回収量のとりまとめを実施した。

(H27 年度古紙回収量 1,319 トン、参加事業者数 1,457、実施区 10 区)

## (4) 国内外におけるリサイクル事情の調査

国内外の視察を通じて、リサイクルシステム構築の工夫や再生資源流通の動向等について情報収集するために以下の調査研究を行った。

- ① 国内視察会（11/14～15、訪問先：茨城・いわき視察会-常陸那珂港港湾施設、栗原紙材(株)ひたちなか営業所(株)リーテム茨城工場、いわき市ごみ減量推進課：11 名)
- ② 国内視察会（2/14～15、訪問先：富山市エコタン（株）エコ・マインド、(株)富山グリーンフードリサイクル、アイオーティカーボン(株)、(株)プリテック、富山市環境部管理課：9 名)

## (5) 行政回収システム等の調査研究

回収システム調査会（第 13 回）により、リサイクルの持続・効率的なあり方を構築するため、阻害要因や課題等について検討を行った。今年度は、古繊維回収システムの実態把握、行政の入札制度のあり方等について地域の情報交換を行った。

また、東京都環境局からの打診により、処理・運搬効率が悪くリサイクルしづらい島しょ部の段ボールリサイクルの促進について、関連団体とともに実態把握と促進方策の見通しについて検討を行った。

## 2 [公2] 再生資源リサイクルに関する普及啓発事業

### (1) リサイクルフォーラムの開催

資源物の主要回収チャンネルである集団回収は、「資源の質の確保」「効率性」「経済性」等の条件を備えた優れた回収システムである。古紙回収量が減少傾向にある中で、今まで以上に都民や行政機関に古紙回収への理解と協力を求める必要があり、集団回収の一層の促進を図る必要がある。そこで、改めて集団回収の意義やあり方を考えるとともに、先進的な集団回収団体の工夫やご努力を学ぶ機会を設けようと「これからの集団回収を考える」をテーマに、講演会及び集団回収リレートークを行った。

講演会：「これからの集団回収を考える～過去・現在・未来～」

講師：山本耕平様（株ダイナックス都市環境研究所所長）

集団回収リレートーク：現場からの報告

東玉川町会 副会長 総務部長 清水勝代様

野方南自治会（株いわい代表取締役 岩窪昭次様

今井自治会連合会 会長 町田泰祐様

(2/21 於：ホテルメトロポリタンエドモント「クリスタルホール」 参加者 85名)

### (2) 東京都消費者月間事業交流フェスタ出展

消費者問題の解決を図ろうと、都内の消費者団体と東京都が「くらしフェスタ東京2016」を開催。当会は環境エリアに出展し、古紙持ち去り問題の啓発を目的としたクイズラリーの他、パネル展示・広報誌・リーフレットの配布を行なった。来場者との意見交換は、単なる一方的な情報にとどまらず、普段接する機会のない多種多様な都民の方の意識やリサイクルへの素朴な疑問等をうかがう上で、貴重な場となっている。

(10/7～8、場所：新宿西口広場イベントコーナー、参加人数：約 34,000 人)

### (3) 市民団体等のフォーラムへの情報提供及び協賛

リサイクル関連市民団体等のシンポジウムに参加し主要再生資源リサイクルの実態について報告等を行う他、同フォーラムに後援・協賛を行った。

第 21 回東京 23 区とことん討論会協賛

「ごみは分別するだけでは減りません！～ごみを燃やさない埋め立てないを考える～」

(7/29 於：千代田区役所)

第 24 回東京 TAMA とことん討論会后援・協賛

「超高齢化社会とごみ問題～他人事ではない！いずれあなたも“おとしより”」

(3/11 於：国分寺 L ホール)

横浜市資源リサイクル事業協同組合リサイクルデザイン環境絵日記 2016 協賛

(11/5 於：みなとみらい大栈橋ホール)

### (4) 職場体験事業の実施

東多摩再資源化事業協同組合と協力し、東村山市内の中学生を対象に、回収車に同乗して行なう回収作業や選別ヤードでの作業体験、紙すき体験を開催した。

(9/15、東村山市立第二中学校 参加者：7名)

#### (5) ホームページの更新

ウェブサイトを通じて、協会の活動や会員情報、情報誌・報告書の掲載等を行った古紙持ち去り問題根絶関連情報・再生資源市場の近況等、東京都や業界が公表している関連情報や識別制度登録車両の公表を行った。

#### (6) 環境 DVD の製作[特定費用準備資金]

都内教育委員会及び小・中学校への配布する DVD 教材を作成してきた。本事業は本年度完了予定であったが、2020年の東京オリンピック・パラリンピックや世界的な経済環境の変化によってコンテンツ内容や使用媒体等の再検討が必要となり、延長することとなった。東京都や業界関係者との連携を密にし、引き続き企画・製作を継続することとする。

### 3 [公 3] 情報誌の発行事業

都民・事業者・行政・協会会員を配布対象に、当協会の PR とリサイクル推進への理解と協力を求めるために、リサイクル情報誌「WE♥りさいくる」第 27 号を発行した。(7,000 部) 主な記事は以下のとおり。

<27 号> 「再生資源リサイクル H28 年 10 大ニュース」「古紙持ち去り根絶対策情報」「<視察報告>バンコクリサイクル事情視察会報告」

### 4 [公 4] 顕彰及び表彰に関する事業

再生資源の効率的・持続安定的なリサイクルを構築するために、貢献が認められる先進的な取り組み等を実施した団体・個人に対して顕彰・表彰を行った。正会員団体より、地域住民のリサイクル活動への参加促進や資源の質と量を確保するための実践、再生資源取扱業者とパートナーシップの構築、古紙持ち去り根絶対策への功績等、他のリサイクル実践団体等の模範となり健全なリサイクル活動促進向上に顕著な貢献をしたと認められる集団回収団体等を推薦いただき、選考委員会の審査を経て受賞者を決定した。

選考委員会：2/2 開催

選考委員：

荒川正行様 (荒川港区環境リサイクル支援部みなとりサイクル清掃事務所長)

有山友規様 (武蔵村山市協働推進部ごみ対策課課長)

山本耕平様 (㈱ダイナックス都市環境研究所所長)

太田原覚様 (㈱資源新報社専務取締役)

受賞者：東玉川町会 (世田谷区)

野方南自治会 (中野区)

今井自治会連合会 (青梅市)

受賞者には感謝状と副賞（クオカード1万円）を贈呈した。  
受賞式 2/21 開催 ホテルメトロポリタンエドモント「クリスタルホール」  
参加者 85 名

## 5 その他法人の目的を達成するための事業

東京都廃棄物審議会への参加

当会、戸部 昇副理事長が同審議会に委員として参加し、災害廃棄物対策についての審議に協力した。（東京都廃棄物審議会総会 3/7 都庁第二庁舎 31F 特 27 会議室）

この他、事務局が同審議会の災害廃棄物部会（2 回）及び災害廃棄物の迅速かつ適正な処理を確保するために必要な体制、処理技術、処理フロー等のワーキンググループ会議（3 回）を傍聴し、審議経過の情報収集に努めた。

以上

平成 28 年度

# 決算報告書

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 まで

公益社団法人東京都リサイクル事業協会

## 平成28年度収支計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

## I. 一般正味財産増減の部

## 1. 経常増減の部

(単位:円)

科目				備考(千円)
	予算額	決算額	差異	
(1) 経常収益				
①基本財産運用益	0	59	59	
基本財産受取利息	0	59	59	
②特定資産運用益	0	179	179	
受取利息	0	179	179	
③受取会費	12,330,000	11,715,537	△ 614,463	
(a) 正会員会費収入	5,370,000	5,370,000	0	広域(6):@360×5、@120×1 地域(23):@120×13、@150×4、@180×2、@210×1、@240×3
(b) 賛助会員会費収入	2,520,000	2,520,000	0	@120×21
(c) 協賛会員会費収入	500,000	540,000	40,000	@40×9、@60×1、@120×1
(d) 一般協賛会員会費収入	900,000	950,000	50,000	@50×19
(e) 事業会費収入	3,040,000	2,335,537	△ 704,463	
-1 調査研究関連	2,500,000	1,212,397	△ 1,287,603	国内視察会(①茨城・いわき市②富山市エコタウン)
-2 普及啓発関連	60,000	61,000	1,000	リサイクルフォーラム
受取分担金	200,000	240,000		関連団体シンポ協賛(東京23区とことん討論会、TAMAとことん討論会)
-3 情報誌関連	480,000	240,000	△ 240,000	
-4 顕彰表彰関連	300,000	91,000	△ 209,000	集団回収団体表彰式(61)推薦組合協賛(30)
-5 その他	270,000	491,140	221,140	陽春の集い参加費(401)東資協議会支援(89)
④ 事業収益	300,000	300,000	0	
調査研究事業	300,000	300,000	0	東商エコリーグ調査委託
⑤ 雑収益	2,000	0	△ 2,000	
雑収入	2,000	0	△ 2,000	
経常収益計	12,632,000	12,015,775	△ 616,225	



科 目				備考(千円)
	予算額	決算額	差異	
(2) 経常費用				
① 事業費				
公1 調査研究事業	5,163,000	7,814,729	2,651,729	事務局雑給賞与含む
1 給料手当	2,465,000	3,917,592	1,452,592	
2 法定福利費	0	540,276	540,276	
3 会議費	64,000	46,266	△ 17,734	
4 旅費交通費	118,000	286,052	168,052	
5 通信運搬費	95,000	373,211	278,211	
6 事務消耗品費	83,000	180,387	97,387	
7 印刷製本費	176,000	386,729	210,729	
8 新聞図書費	15,000	0	△ 15,000	
9 調査研究費	1,700,000	1,369,828	△ 330,172	茨城いわき市(527) 富山市エコタウン(842)
10 家賃	367,000	555,660	188,660	
11 光熱水費	75,000	64,546	△ 10,454	
12 雑費	5,000	94,182	89,182	持ち去り見交換会会費(60) 視察先手みやげ他
公2 普及啓発事業	3,402,000	2,325,240	△ 1,076,760	
1 給料手当	2,275,000	1,119,312	△ 1,155,688	
2 法定福利費	0	154,365	154,365	
3 会議費	15,000	143,720	128,720	リサイクルフォーラム会場費(137)
4 旅費交通費	73,000	84,459	11,459	
5 通信運搬費	45,000	134,217	89,217	
6 事務消耗品費	79,000	51,539	△ 27,461	
7 印刷製本費	156,000	110,494	△ 45,506	
8 新聞図書費	16,000	0	△ 16,000	
9 家賃	321,000	158,760	△ 162,240	
10 光熱水費	64,000	18,442	△ 45,558	
11 支払分担金	260,000	260,000	0	関連団体とことん討論会協賛(260) 東京都くらしフェスタ出展料(30) 横浜リ協環境 絵日記2016協賛(20) フォーラム講師謝礼 (33) 他
12 雑費	358,000	89,932	△ 268,068	
公3 情報紙の発行事業	971,000	758,884	△ 212,116	
1 給料手当	291,000	310,920	19,920	
2 法定福利費	0	42,879	42,879	
3 会議費	0	0	0	
4 旅費交通費	62,000	22,297	△ 39,703	
5 通信運搬費	193,000	80,116	△ 112,884	情報誌27号梱包・発送費(51)
6 事務消耗品費	31,000	14,316	△ 16,684	
7 印刷製本費	327,000	239,133	△ 87,867	編集・印刷費(208)
8 新聞図書費	10,000	0	△ 10,000	
9 家賃	43,000	44,100	1,100	
10 光熱水費	9,000	5,123	△ 3,877	
11 雑費	5,000	0	△ 5,000	

科目	予算額	決算額	差異	備考(千円)
公4 顕彰表彰事業	360,000	914,555	554,555	
1 給料手当	112,000	435,288	323,288	
2 法定福利費	0	60,030	60,030	
3 会議費	40,000	149,360	109,360	集団回収団体表彰式会場費(137)選考委員会会場費(10)
4 旅費交通費	10,000	41,216	31,216	
5 通信運搬費	58,000	38,784	△ 19,216	
6 事務消耗品費	55,000	24,867	△ 30,133	
7 印刷製本費	35,000	42,970	7,970	
8 新聞図書費	0	0	0	
9 家賃	8,000	61,740	53,740	
10 光熱水費	2,000	7,172	5,172	
11 雑費	40,000	53,128	13,128	表彰状筆耕(21)表彰団体副賞クオカード(31)
② その他事業費				
その他1 研修及び相談事業	249,000	0	△ 249,000	
1 給料手当	55,000	0	△ 55,000	
2 法定福利費	0	0		
3 会議費	125,000	0	△ 125,000	
4 旅費交通費	9,000	0	△ 9,000	
5 通信運搬費	14,000	0	△ 14,000	
6 事務消耗品費	7,000	0	△ 7,000	
7 印刷製本費	18,000	0	△ 18,000	
8 新聞図書費	16,000	0	△ 16,000	
9 家賃	4,000	0	△ 4,000	
10 光熱水費	1,000	0	△ 1,000	
11 雑費	0	0	0	

科目	予算額	決算額	差異	備考(千円)
③ 管理費	2,417,000	2,023,571	△ 393,429	
1 役員報酬	0	0	0	
2 給料手当	1,020,000	435,288	△ 584,712	
3 法定福利費		60,030		
4 福利厚生費	0	0	0	
5 会議費	80,000	544,209	464,209	陽春の集い会場費(460)理事会等(69)他
6 旅費交通費	97,000	31,216	△ 65,784	
7 通信運搬費	109,000	38,784	△ 70,216	
8 新聞図書費	25,000	54,108	29,108	日経新聞購読料
9 事務消耗品費	135,000	20,043	△ 114,957	
10 印刷製本費	138,000	42,970	△ 95,030	
11 光熱水費	29,000	7,172	△ 21,828	
12 地代家賃	139,000	61,740	△ 77,260	
13 租税公課	3,000	6,300	3,300	源泉所得延滞税(5)
14 支払手数料	30,000	17,326	△ 12,674	
15 諸会費	39,000	39,000	0	東京商工会議所(15) 自民党各種団体(24)
16 交際費	250,000	297,525	47,525	
17 税理士報酬	319,000	324,930	5,930	
18 雑費	4,000	42,930	38,930	公益法人栄典授与セミナー(6)佐々木氏都知事賞受賞記念品(28)他
経常費用計	12,562,000	13,836,979	1,274,979	

## 2. 経常外増減の部

科目	予算額	決算額	差異	備考(千円)
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	

当期経常増減額	70,000	△ 1,821,204	△ 1,891,204	
当期経常外増減額	0	0	0	
法人税	70,000	70,000	0	
当期一般正味財産増減額	0	△ 1,891,204	△ 1,891,204	
一般正味財産期首残高	11,882,000	10,938,755	△ 943,245	
一般正味財産期末残高	10,938,000	9,047,551	△ 1,890,449	

## Ⅱ. 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	

## Ⅲ. 正味財産期末残高

正味財産期末残高	10,938,000	9,047,551	△ 1,890,449	
----------	------------	-----------	-------------	--

## 正味財産増減計算書

自平成28年4月1日 至平成29年3月31日

(金額単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
会費収入			
正会員会費	5,370,000	5,320,000	50,000
賛助会員会費	2,520,000	2,400,000	120,000
協賛会員会費	540,000	540,000	0
一般協賛会員会費	950,000	900,000	50,000
公1調査研究事業会費(視察会)	1,212,397	3,247,413	△ 2,035,016
公2普及啓発事業会費	61,000	195,000	△ 134,000
公3情報誌事業会費	240,000	240,000	0
受取分担金	240,000	220,000	20,000
公4顕彰表彰事業会費	91,000	0	91,000
法人運営事業会費	491,140	76,680	414,460
事業収入	300,000	300,000	0
<b>経常収益計</b>	<b>12,015,537</b>	<b>13,439,093</b>	<b>△ 1,423,556</b>
(2) 経常費用			
事業費	11,813,407	12,510,567	△ 697,160
給料手当・賞与	5,783,112	5,689,836	93,276
法定福利費	797,552	0	797,552
会議費	339,346	268,586	70,760
旅費交通費	434,024	439,063	△ 5,039
通信運搬費	626,327	543,451	82,876
事務消耗品費	271,109	169,308	101,801
印刷製本費	779,325	757,778	21,547
新聞図書費	0	5,400	△ 5,400
光熱水費	95,282	107,035	△ 11,753
地代家賃	820,260	807,030	13,230
研究調査費	1,369,828	3,196,980	△ 1,827,152
支払分担金	260,000	240,000	20,000
諸会費	60,000	60,000	0
雑費	177,242	226,100	△ 48,858
管理費	2,023,572	1,803,642	219,930
役員報酬	0	0	0
給料手当・賞与	435,288	528,564	△ 93,276
法定福利費	60,031	0	60,031
会議費	544,209	196,759	347,450
旅費交通費	31,216	40,787	△ 9,571
通信運搬費	38,784	40,311	△ 1,527
新聞図書費	54,108	54,108	0
事務消耗品費	20,043	14,643	5,400
印刷製本費	42,970	53,911	△ 10,941
光熱水費	7,172	9,943	△ 2,771
地代家賃	61,740	74,970	△ 13,230
租税公課	6,300	5,450	850
支払手数料	17,326	21,916	△ 4,590
諸会費	39,000	39,000	0
交際費	297,525	340,880	△ 43,355
税理士報酬	324,930	259,200	65,730
雑費	42,930	123,200	△ 80,270
<b>経常費用計</b>	<b>13,836,979</b>	<b>14,314,209</b>	<b>△ 477,230</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 1,821,442</b>	<b>△ 875,116</b>	<b>△ 946,326</b>
<b>II 経常外増減の部</b>			
経常外収益			
受取利息	238	1,654	△ 1,416
経常外損益			
法人税等	70,000	70,000	0
<b>当期正味財産増減額</b>	<b>△ 1,891,204</b>	<b>△ 943,462</b>	<b>△ 947,742</b>
<b>期首正味財産残額</b>	<b>10,938,755</b>	<b>11,882,217</b>	<b>△ 943,462</b>
<b>期末正味財産残額</b>	<b>9,047,551</b>	<b>10,938,755</b>	<b>△ 1,891,204</b>

## 貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	104,765	232,588	△ 127,823
普通預金	6,469,900	8,428,892	△ 1,958,992
前払金	0	24,000	△ 24,000
未収入金	989,043	610,000	379,043
流動資産合計	7,563,708	9,295,480	△ 1,731,772
2 固定資産			
定期預金			
普及啓発-環境DVD製作	1,748,457	1,799,148	△ 50,691
その他の固定資産	0	0	0
固定資産合計	1,748,457	1,799,148	△ 50,691
資産合計	9,312,165	11,094,628	△ 1,782,463
0			0
II 負債の部			0
1 流動負債			0
法人税等未払金	70,000	70,000	0
前受金	80,000	40,000	40,000
預り金	114,614	45,873	68,741
流動負債合計	264,614	155,873	108,741
0			0
2 固定負債			0
0	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	264,614	155,873	108,741
III 正味財産の部			
正味財産額	9,047,551	10,938,755	△ 1,891,204
(内当期正味財産増加額)	△ 1,891,204	△ 943,462	△ 947,742
負債及び正味財産合計額	9,312,165	11,094,628	△ 1,782,463

## 計算書類に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、前払金、未収入金、仮払い金、未払い金、前受金および預り金を含めることにしている。

なお、前期末及び当期末残高は2に記載のとおりである。

### 2. 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

科目	当期末残高	前期末残高
現金預金	6,574,665	8,661,480
前払金	0	24,000
未収入金	989,043	610,000
仮払い金	0	0
合計	7,563,708	9,295,480
未払金	0	0
法人税等未払金	70,000	70,000
前受金	80,000	40,000
預り金	114,614	45,873
合計	264,614	155,873
次期繰越収支差額	7,299,094	9,139,607
固定資産	1,748,457	1,799,148
正味財産	9,047,551	10,938,755

### 3. 固定資産の取得価格、固定資産除却額はない。

科目	取得価格	固定資産除却額	当期末残高
定期預金	-	-	1,748,457
-	-	-	-

財 産 目 録

平成29年3月31日現在

(単位:円)

科 目		金 額	
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
<b>現金預金</b>			
現金	現金手許有高	104,765	
普通預金	三菱東京UFJ銀行上野中央支店	6,469,900	6,574,665
<b>未収入金</b>			
	協賛会費	660,000	
	事業費(東商エコリーグ等)	300,000	
	事業費(視察会参加キャンセル代)	19,043	
	立替金	10,000	989,043
<b>流動資産合計</b>			<b>7,563,708</b>
<b>2 固定資産</b>			
<b>普及啓発-環境DVD製作</b>			
定期預金	三菱東京UFJ銀行上野中央支店	1,748,457	
<b>その他の固定資産</b>			
		0	
<b>固定資産合計</b>			<b>1,748,457</b>
<b>資産合計</b>			<b>9,312,165</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
<b>未払い金</b>			
		0	
<b>法人税等未払金</b>			
		70,000	
<b>前受金</b>			
	正会員費・協賛会費	80,000	
<b>預り金</b>			
	源泉所得税・法定福利費	114,614	
<b>流動負債合計</b>			<b>264,614</b>
<b>2 固定負債</b>			
<b>固定負債</b>			
		0	
<b>固定負債合計</b>			<b>0</b>
<b>負債合計</b>			<b>264,614</b>
<b>正味財産</b>			<b>9,047,551</b>